

朝日小学校閉校式・惜別の会

108年の歴史に幕 思い出永遠に



本年度で閉校となる朝日小学校閉校式・惜別の会が2月9日に執り行われ、在校生児童、学校関係者のほか、来賓や保護者ら約150名が参列しました。

朝日小学校は、大正5年（1916年）6月12日に日新小学校去童（サルワラベ）特別教授場として開校。以後、幾度かの改編を経て昭和29年に現在の朝日小学校に改称しました。また、校舎も昭和24年に現在地に移転され、昭和52年に現在の校舎が建設されました。

平成20年には、明和・若園・東川・美宇・太陽の5つの小学校と統合し、今年度で108年目を迎えました。

町主催の閉校式では、鳴海町長の式辞、来賓からの挨拶に続き、お別れの言葉が述べられました。

最初に児童会長のクリス ローレンスさんが、思い出に残っている学校行事を通して「地域の方にいろいろなことを教えてもらった。閉校は寂しいけど4月から新冠小学校、中学校で頑張ります。」と挨拶し、後藤祐美子校長は「素晴らしい子どもを育てたのは地域の皆さま、先人の大いなる努力の積み重ねの賜

物で、全ての方に感謝しています。子どもたちが新たな希望をもって前に進むことを祈念します。」と挨拶しました。

最後に、後藤校長とクリス ローレンス児童会長から鳴海町長と奥村教育長に、これまで108年にわたり学校の歩みを見守ってきた朝日小学校の校旗が返納されました。

続いて行われた閉校記念事業実行委員会主催による惜別の会では、鎌田直樹実行委員長と石井秀厚PTA会長の挨拶に続き、学校の歴史を振り返るスライド上映などが行われました。

実行委員会が制作したスライドの上映では、映像が変わるたびに子どもたちは歓声をあげ、会の最後に披露した全校児童による合唱では、『ゆきを出して歩こう（※）』を歌い、朝日小学校らしさを感じる、明るく元気な雰囲気の中で会を終えました。

※補足

『ゆきを出して歩こう』は平成21年度に、社会教育課が昭和音楽大学の益田トッシュ氏を招いて行った「音楽創造体験事業」で作られた歌。

作曲は昭和音楽大学の益田講師が手掛け、歌詞は朝日小学校児童が、自分たちの小学校から連想した言葉によって作られた。

この歌は第2の校歌として親しまれ、朝日小学校で代々歌い継がれている。



- ①朝日小学校旗を広げる後藤校長とクリス ローレンス児童会長
- ②校長と児童会長から返納される校旗を受ける鳴海町長と奥村教育長
- ③閉校記念事業実行委員会が制作したスライドの上映
- ④「ゆきを出して歩こう」の全校合唱

朝日小学校 校歌

作詞 川村 湊人
作曲 加藤 けん三

一 からまつ 林の奥に

郭公の 声透る朝

広き野に 群がる若駒

躍る脚 風切るごとく

たくましく われら朝日の子らよ

二 見はるかす 地平は緑

空青く 雲流れ行く

ゆうゆうと 草はむ牛ら

すわりたる 姿のごとく

たじろがじ われら朝日の子らよ

三 新冠 清き流れの

めぐり行き 培う大地

花園に 花咲きにおい

稲の穂の 実れる如く

豊かなれ われら朝日の子らよ



ゆうきを出して歩こう

作詞 朝日小学校児童

作曲 益田 トッシュ

仲良く 楽しく かしく 明るく

たくましく やさしく

えがおで がんばろうよ

楽しかったキャンプ

きんちょうした学芸会

がんばった運動会

みんな走り続けるよ

朝日小は 思い出が たくさん

朝日の森 手をのばせば 自然

ひびきたるよ カラフルなスマイル

朝日まふしいよ 友達は元気だよ

いつもにぎやか 仲間が増えたんだ

花と 虫と 鳥と リス

馬と 牛と シカが いっぱい!

ぼくらの 朝日小学校

春はさくら 夏はプール

秋はいろいろな実 冬はスケート

やどりがみの木 めいこの森

ゆるしあう気持ち ゆずりあう心

朝日小は 思い出が たくさん

朝日の森 手をのばせば 自然

どこに向かうの 未来を 見たいの

朝日まふしいよ 友達は元気だよ

わらいあつてる しあわせがいっぱい

ここにいたおぼくが

ぼくらをつつみこむと であう

勇気をだして歩こう

ぼくらの 朝日小学校

